**患者の皆様へ**

2021年8月1日

アレルギー・膠原病内科

　現在、アレルギー・膠原病科では、「ANCA関連血管炎（・巨細胞性動脈炎/側頭動脈炎）における大腿骨頭壊死症の発生率並びにリスク因子の解析」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究ではANCA関連血管炎（・巨細胞性動脈炎/側頭動脈炎）の診療情報などを利用させて頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名　「ANCA関連血管炎（・巨細胞性動脈炎/側頭動脈炎）における大腿骨頭壊死症の発生率並びにリスク因子の解析」

２．研究の意義・目的　ANCA関連血管炎（・巨細胞性動脈炎/側頭動脈炎）の患者さんの大腿骨頭壊死発症を予測する因子を明らかにする

３．研究の方法

2000年1月以降にANCA関連血管炎（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫性）、巨細胞性動脈炎/側頭動脈炎の診断で当診療科に外来受診または入院された患者さんを対象とします。電子カルテ、紙カルテ上より発症時の年齢や性別などの 患者背景、臨床症状、検査値、合併症、治療内容などの情報を集め、大腿骨頭壊死の発症に関わる因子の解析を行います。また、通常診療での採血で余った検体（残余検体）を用いて、サイトカインとよばれる細胞から分泌される生理活性タンパク質などを測定して解析します。

４．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院アレルギー・臨床免疫学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

５．外部への試料・情報の提供

本研究で収集される情報が2次利用または他研究機関へ提供される予定はありません。

６．研究組織

この研究は千葉大学医学部附属病院　アレルギー・膠原病内科が主導し、以下の関連施設と共同して研究を行います。

国保旭中央病院、国立病院機構下志津病院、国立病院機構千葉東病院、千葉県済生会習志野病院、千葉市立青葉病院、成田赤十字病院、松戸市立総合医療センター、山梨大学医学部附属病院、横浜労災病院、千葉ろうさい病院、国際医療福祉大学成田病院、千葉メディカルセンター、浜松医療センター

７．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合（オプトアウト）について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省･厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

**研究実施機関　　：千葉大学医学部附属病院　アレルギー・膠原病内科**

**本件のお問合せ先：医学部附属病院　アレルギー・膠原病内科**

**医師　岩本　太郎**

**０４３（２２２）７１７１　内線５５３１**

**研究代表機関　　：千葉大学大学院医学研究院　アレルギー・臨床免疫学**

**千葉大学医学部附属病院　アレルギー・膠原病内科**

**研究代表者　　　：中島　裕史**